



# 院長通信



2026年 2月 Vol.4

## 人を育てること

皆さん、山本五十六さんを知っていますか。昭和生まれの方なら五十六を「いそろく」と読めるでしょうが、若い方はご存知ないかもしれません。

この方は第二次世界大戦時の日本軍連合艦隊司令長官で、海軍の軍人です。

この山本五十六大将が残した私の好きな名言があります。それは「して見せて、言っ



海軍大將 山本五十六閣下

「近代 日本人の肖像」より引用

(<https://www.ndl.go.jp/portrait/datas/344?c=0>)

当時は「俺の背中を見て覚えろ」といった厳しいやり方が当たり前だった時代に、このようなやり方を軍人が勧めたというのは大きな驚きです。そして、この言葉を私は非常に大切に思っています。

世の中には頭のいい人もそうでない人も、器用な人も不器用な人も、要領のいい人もそうでない人もいろいろな人がいます。

先輩の背中を見ても理解できない人や、理解できても手が動かない人がいっぱいいます。そのような人でも、組織(病院)にとっては大切な人材です。

一部のできる人だけを優遇して、できない人を切り捨てるというような組織は多くの場合、成り立ちません。最初できなくてもゆっくりと上手になる人、上手ではなくとも丁寧な仕事をする人など、いろいろな人がいることを皆さんも知っているでしょう。

上に立つもの(先輩)は、順を追って丁寧に指導することで後進の可能性を広げることができるのです。多くの職員が山本五十六の言葉を実践して、よき指導者としてよき後輩に恵まれることを期待しています。

院長 福田 亘